

研究分野のキーワード：日本語教育，植民地朝鮮，ラジオ放送，学校教育，運用力

研究紹介

日本語教育学の中で、近代日本が植民地であった朝鮮半島において「国語」という名前で教育していた日本語について、教材を中心に研究しています。今日の日本語教育でも、運用力の育成を目指した教育は参考になることが多く、今、注目されている外国人児童生徒に対する日本語教育についても学ぶことが多いと思います。教科書の編纂は、時期を追って、外国語教授法の発展の成果が反映しています。イデオロギー教育というだけでは結論付けられない多くの要素があります。

①朝鮮第一期

『普通学校国語読本 巻一』（1923年）

朝鮮総督府



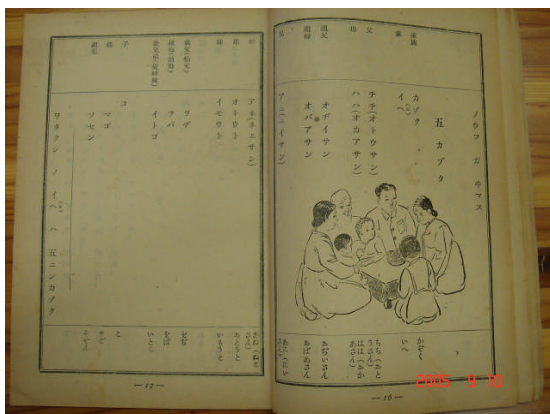
②朝鮮第五期

『ヨミカタ 1ネン上』（1942年）

朝鮮総督府



③ 『初等国語教本』（1943年）朝鮮放送協会



日本語教育が行われた地域は広大で、それぞれの地域の特性やニーズ（学習者側と教授者側）の違いが教材に表れています。

それらを丁寧に追うことで、今日にも通用する日本語教育の考え方、指導方法を明らかにしていきたいと考えています。